

テレビ番組表に関するマーケティングデータ 第2弾

朝日大学マーケティング研究所

調査概要

調査方法 WEBアンケート

調査期間 2003年10月23日(木)～2003年10月30日(木)

調査対象 首都圏在住者
12歳～49歳の男女

有効回答 926名

12～19歳男性(T男)	150名
12～19歳女性(T女)	158名
20～34歳男性(M1)	150名
20～34歳女性(F1)	157名
35～49歳男性(M2)	161名
35～49歳女性(F2)	150名
計	926名

(テレビを見ていない人は除く)

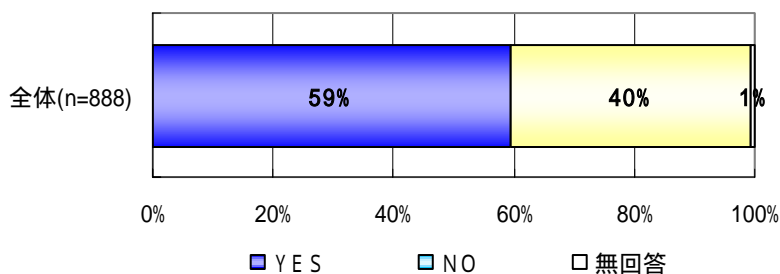
1. テレビ番組表でよく見る時間帯

テレビ番組表を開く前から、その配置を把握している人は6割近くいる。また、8割以上が、番組表の中でチェックする番組が大体決まっている。

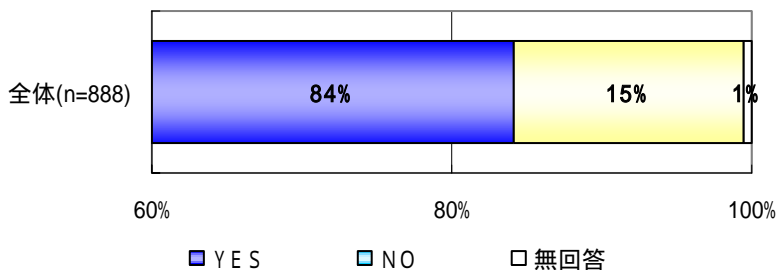
一番最初に見るところは、時間帯の枠(50%)、自分がいつも見ている番組の枠(35%)。

テレビをよく見る時間帯のところだけを見るという人は約7割を占める。見ている時間帯は、19時台から22時台のプライムタイム。

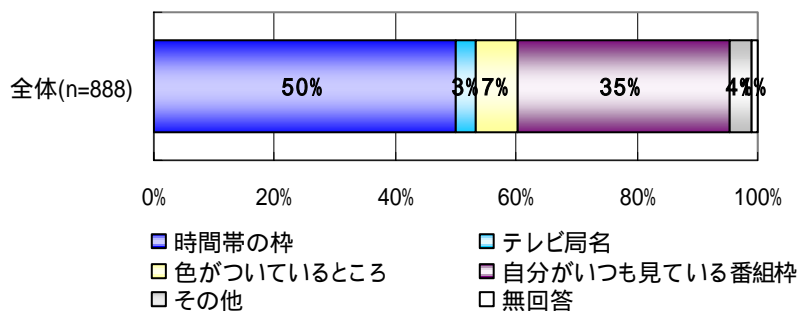
Q 開く前から、どの番組がどの位置にあるか大体分かる



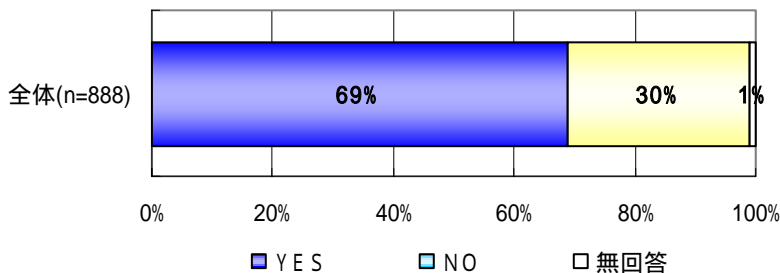
Q 自分がチェックする番組は大体決まっている



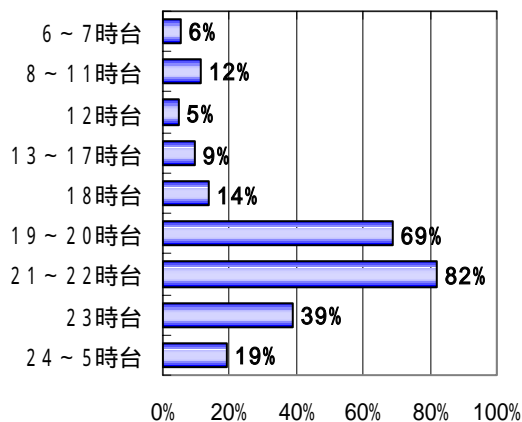
Q テレビ番組表の中で、一番最初に見るところ



Q 見ているのは自分がテレビをよく見る時間帯のところが多い



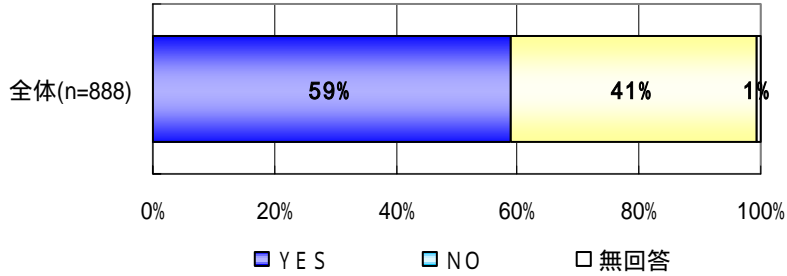
Q どの時間帯を見ることが多いですか？



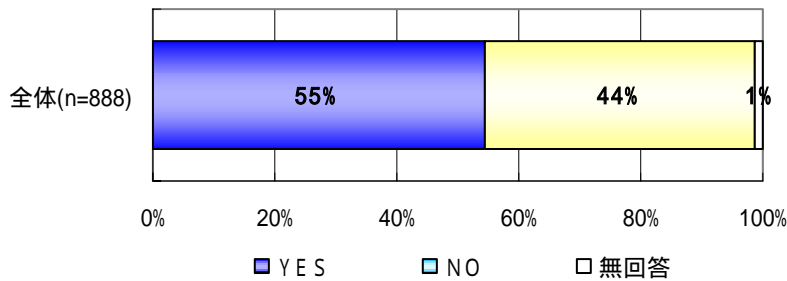
2. テレビ番組表をよく見る時期、注目するところ

特番の時期（59%）や新しいドラマが始まる時期（55%）は、普段よりテレビ番組表を見るのが比較的多くなる。
テレビ番組表の中で、色がついている枠の番組を注目するという人は6割近くに達する。

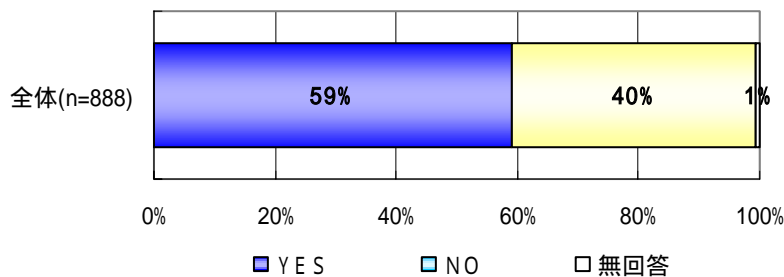
Q 特番の時期はテレビ番組表を見るのが普段より多い



Q 新しいドラマが始まる時期は、普段よりテレビ番組表をチェックしている



Q テレビ番組表の中で色がついている枠の番組は注目する



母数は全て現在テレビ番組表を見ている人

3. 見たいと思う番組の決定

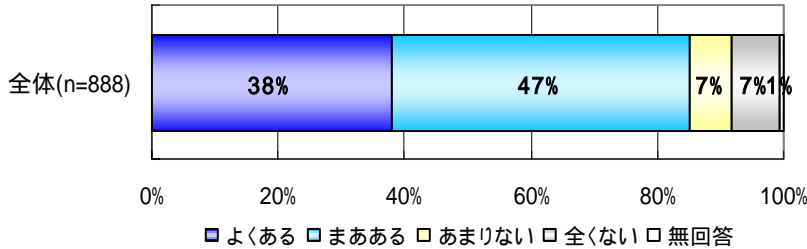
8割以上の方は、テレビ番組表を見て視聴する番組を決めている。

(「よくある」+「まあある」と回答した人)

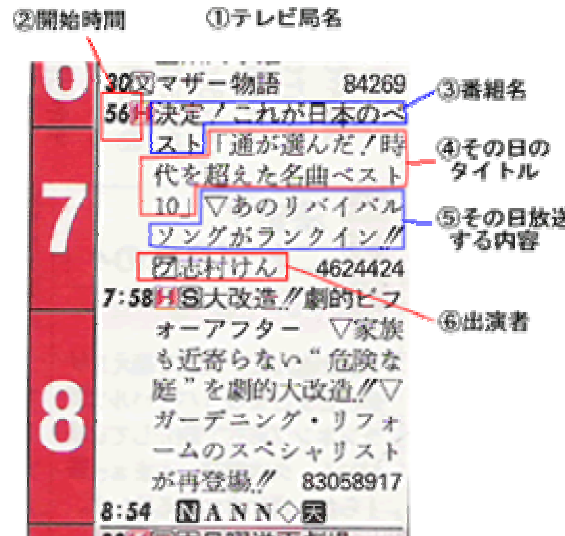
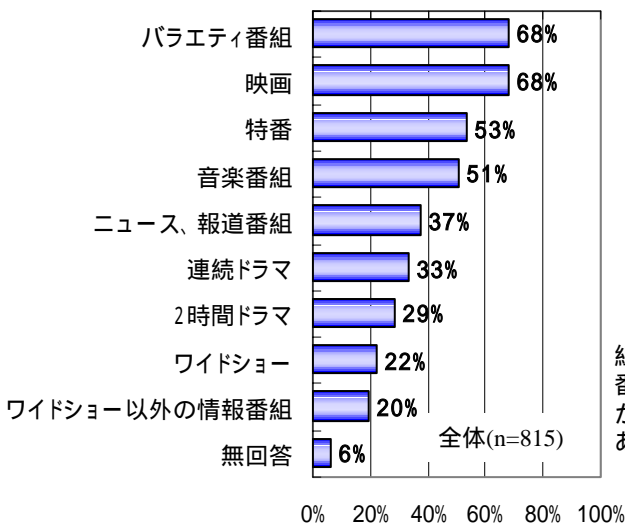
テレビ番組表によって、視聴するかどうかを決めることが多いのは、バラエティ番組(68%)、映画(68%)、特番(53%)、音楽番組(51%)である。

視聴を決める際に注目しているところは、番組のジャンルによって異なっており、バラエティ番組や特番は放送内容、映画はタイトル、音楽番組は出演者である。

Q テレビ番組表を見てから、番組を見るかどうかを決めることはありますか？



Q テレビ番組表を見てから、見るかどうかを決めるのはどんなジャンルの番組ですか？



視聴するかどうかを決めること

バラエティ番組(n=554)

その日放送する内容	44%
出演者	19%
番組名	16%

映画(n=552)

その日のタイトル	40%
番組名	24%
その日放送する内容	24%

特番(n=436)

その日放送する内容	64%
その日のタイトル	18%
番組名	10%

音楽番組(n=414)

出演者	78%
その日放送する内容	15%
番組名	3%

ニュース、報道番組(n=304)

その日放送する内容	61%
その日のタイトル	13%
番組名	8%

連続ドラマ(n=269)

出演者	29%
番組名	26%
その日放送する内容	13%

2時間ドラマ(n=234)

出演者	33%
その日放送する内容	33%
その日のタイトル	21%

ワイドショー(n=179)

その日放送する内容	73%
その日のタイトル	14%
番組名	4%

ワイドショー以外の情報番組(n=160)

その日放送する内容	76%
その日のタイトル	14%
番組名	5%

それぞれの母数は、そのジャンルの番組はテレビ番組表を見てから見るかどうかを決めることがある人

視聴者の6割以上は、テレビ番組表の配置を大体把握しており、見方もほぼ決まっている。また、チェックする番組が大体決まっているという人も8割を超える。

自分がテレビをよく見る時間帯のところしか見ないという人が多く、番組表の中でまず最初に目を通すのは時間帯の枠である。見ている時間帯は、19～20時台（69%）、21～22時台（82%）が多いが、23時台（39%）を見る人も次に多い。

色がついている番組枠を注目したり、特番や新しいドラマが始まる時期は、普段よりテレビ番組表を見る機会が増える。

テレビ番組表を見て視聴する番組を決めるという人が、視聴者の8割以上を占める。特に、バラエティ番組、映画、特番、音楽番組はその傾向が強い。バラエティ番組や特番は放送内容、映画はタイトル、音楽番組は出演者と、番組のジャンルによって、視聴するかどうかを決める際に注目しているものが異なる。

今後、テレビ局側としては、視聴者が注目するところ（時間帯、時期）によって、レイアウト（色を変えるなど）を工夫したり、番組のジャンルによって、番組枠内の情報のうち、視聴を決める際に注目する部分をより強調するなどの工夫をしていく必要がある。

マンスリーリサーチ

テレビ番組表に関するマーケティングデータ 第2弾

発行日 2003年11月28日

発行・調査分析 朝日大学 マーケティング研究所
〒460-0002
愛知県名古屋市中区丸の内3-21-20
朝日丸の内ビル2F
TEL : 052-961-4576

お問い合わせ enquete@titan.ocn.ne.jp